

【緑区】令和 8 年 第 2 回 区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和 8 年 6 月 23 日 午後 3 時 00 分 ～午後 4 時 00 分
場 所	緑区役所 4 階 会議室 4 A B
出席者	【座 長】越久田記子 議員 【議員：3 名】鴨志田啓介 議員、高橋正治 議員、斉藤達也 議員 【緑区：23 名】佐藤康博 区長、柏木利明 副区長 檜崎佳代子 福祉保健センター長 武規和 福祉保健センター担当部長 長内紀子 緑土木事務所長 高倉徹 担当部長（緑図書館長） ほかに関係職員
議 題	1 令和 8 年度 緑区運営方針 2 緑区に係る予算のすがた（令和 8 年度一般会計当初予算） 3 令和 8 年度 個性ある区づくり推進費 執行状況
発言の 要 旨	議題 1 令和 8 年度 緑区運営方針 （区長説明） 議題 2 緑区に係る予算のすがた（令和 8 年度一般会計当初予算） （区長説明） 議題 3 令和 8 年度 個性ある区づくり推進費 執行状況 （区長、副区長説明） 【4 暮らしの衛生推進事業】 斉藤議員：災害時におけるペット同行避難に関し、地域防災拠点での受入状況について、現在の進捗は。 川崎生活衛生課長：区内 22 か所の地域防災拠点のうち、現在 17 拠点でペットの一時飼育場所が決定しております。さらに、3 拠点においても運営委員会で検討が進められております。 斉藤議員：ペット飼育者など地域の有志による自主的な取組へのアプローチについて検討を要望する。 【12 高齢者生きがい推進事業】 斉藤議員：健康麻雀大会の進捗状況は。 小川高齢・障害支援課長：区内各地域で既に取り組が進んでいることを確認しております。高齢者の生きがいづくりの観点から、老人クラブ

と調整を行い、令和８年度に試行的な大会開催を予定しております。現在、具体的な運営方法や周知方法について調整を進めております。

【23 きれいなまちづくり事業】

鴨志田議員：横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止等に関する条例の一部改正に伴い、令和９年１月より道路等屋外の公共の場所は喫煙禁止の対象範囲となるが、どのように周知していくのか。

神崎資源化推進担当課長：現在も緑区役所と資源循環局緑事務所が連携し、区内４駅周辺においてポイ捨て防止や受動喫煙対策、喫煙禁止の啓発を行っておりますが、条例の改正を受け、これらの取組を強化してまいります。

鴨志田議員：公園や道路など駅から離れた場所での対応が重要と考えるが、そのような場所における周知及び指摘・注意のあり方について、どのように考えているのか。

神崎資源化推進担当課長：スーパーの店頭など人が集まる場所での周知・啓発を行うほか、それ以外の地域においても、例えば収集車両を活用して、区内全域での周知を図ってまいります。

鴨志田議員：条例施行の効果検証として、ポイ捨てされたたばこの量の変化を把握することを要望する。

【27 市民活動パワーアップ支援事業】

鴨志田議員：ぱそこん広場@みどり事業の参加者は。

瀬谷地域振興課長：令和７年度の実績は、ぱそこん広場の参加者数は８４０人、IT講習会は８５人、さらに自治会向けのスマートフォン講座は２３０人が参加しており、引き続き多くの方に利用いただいております。

鴨志田議員：今後はAIなど新たな分野への関心も高まると考えるため、こうしたニーズへの対応を期待する。

越久田議員：アプリ導入への支援は評価できるが、実際にどのような効果があったのか、あるいは使い勝手の課題などについて情報共有できる仕組みが必要ではないかと考える。自治会同士の意見交換の場について、どのように考えているか。

瀬谷地域振興課長：６自治会程度を対象に募集を行い、現在５自治会から申込みをいただいております。各連合の中で事例を共有し、地域内で横展開していくことを想定しております。また、ご指摘のよ

うな意見交換や情報共有のあり方についても、今後の支援の中で検討してまいります。

【その他】

鴨志田議員：横浜市 LED 防犯灯事業について、どのようなデータに基づき設置場所を決定しているのか。

瀬谷地域振興課長：横浜市が把握している防犯灯の位置情報と電柱の位置情報を組み合わせることで、暗がりとなる可能性がある箇所を抽出し、設置候補としております。その上で、自治会に確認を依頼しております。

鴨志田議員：通行量や人口密度なども考慮されるべきではないか。

瀬谷地域振興課長：現時点では通行量ではなく、主に低層住宅地域を対象に抽出しております。その後、袋小路かどうかや一定の戸数があるかなどについて、自治会に現地確認を依頼し、最終的な設置判断をしていただいております。

鴨志田議員：低層住宅地域を中心に進めているとのことだが、農道や畑周辺など、より暗がりとなりやすい場所で犯罪が発生している事例もある。データだけでなく現場の実情を十分に把握する必要があるのではないか。

佐藤区長：現場の実情を踏まえることは重要であると認識しております。本事業については、各地区連合や自治会等に説明を行い、地域の意見を踏まえて進めております。場合によっては区役所も関与し、多様な意見を集約しながら柔軟かつ適切に対応してまいります。

高橋議員：防犯カメラの設置について、学校周辺などへの設置が進められていると認識しているが、現在の状況は。

瀬谷地域振興課長：申請件数は多くはありませんが、防犯関係予算の増額により、来年度は申請分について概ね設置可能な見込みです。

高橋議員：防犯カメラは犯罪抑止に一定の効果があり、自治会等での意識向上も含め、積極的に取り組むべきと考える。

佐藤区長：防犯カメラは治安維持の有効な手段の一つと認識しております。一方で、地域や家庭、社会全体で未来に向けて根本的な犯罪防止のための活動を行うことが重要であると考えています。

斉藤議員：犯罪発生データや発生場所については警察と連携し、情報共有・分析を行うことが重要である。また、長津田駅周辺において夜間

	に爆音で走行するバイクの若者が問題となっている。 佐藤区長：看板設置等による啓発や、必要に応じたインフラ対策など、抑止的観点からの対応が考えられる。地域や警察と連携し、状況に応じた対応を進めてまいります。 斉藤議員：中山駅南口再開発は緑区にとって重要な課題であり、従来計画の見直しも必要ではないか。 佐藤区長：最重要課題の一つと認識しております。現在は組合施行による民間主導の事業であり、関係者間の調整が難航している状況です。今後は社会経済状況の変化も踏まえ、新たな視点での整理や議論が必要と考えており、都市整備局と連携して検討を進めてまいります。 斉藤議員：バリアフリーや喫煙環境、駅周辺の美化などの課題について、改善の取組が区民に見える形で示されるよう要望する。
備 考	